

旅費細則

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会における旅費の支払いに関し、必要な事項を定める。

(種類)

第2条 旅費は、交通費・宿泊費とする。

2. 旅費は、その用務により本部または支部から支給される。

(支給条件)

第3条 次の活動(用務)に際し旅費を支給する。

- (1) 理事会、支部役員会
 - (2) 理事長が協会運営のために理事及び監事等を招集して行う会議
 - (3) 部局、委員会、ワーキンググループ
 - (4) その他の理事会が承認した事業
 - (5) 支部役員会が承認した事業
2. 全国または支部総会の開催にあわせて計画された協会活動に対しては、旅費は支給されない。ただし、用務の責任者が承認した場合は、この限りではない。

(支給)

第4条 旅費は最も経済的な通常の公共交通機関による経路および方法により旅行する場合の計算により支給される。

- (1) 勤務先または自宅と用務地との最短区間の往復運賃を支給する。急行あるいは特別急行(新幹線を含む)、航空機および船舶を利用する場合は、その妥当性を確認すること。
- (2) 支給を受ける者は、必要経費をあらかじめ会計担当(本部、支部、大会等の用務における会計担当)に連絡する。なお、経済的かつ通常の経路及び方法を選択する。
- (3) 支給を受ける際には、その額を証明する書類(別紙1の様式に従う)を提出しなければならない。急行あるいは特別急行(新幹線を含む)、航空機および船舶を利用した場合は、領収書を添付することにより支給される。
- (4) 片道 50 km 以上の旅程になる場合は急行料金を、片道 100 km 以上の旅程になる場合は特別急行料金(新幹線を含む)を支給できる。
- (5) 遠隔地からは航空機を利用でき、航空運賃は現に支払った額による。
- (6) 宿泊が必要な場合は、原則的に宿泊を含むパック旅行を利用し、パック旅行料金は現に支払った額による。パック旅行を利用できない場合は、一泊 10,000 円を上限として実費を支給する。また、「食事込み料金」の設定しかない場合を除いて、支給額は「素泊まり」料金とする。
- (7) 自家用車を用いる場合、1km あたり 20 円(5km 単位の支給とする)とし、駐車

場料金および高速道路利用料金は、その領収書または利用証明書をもって実費を支給する。

- (8) 用務の当日早朝に出発地を出ても用務時間に間に合わない場合、また用務終了後妥当な時間に帰着地に着かない場合は、前泊及び後泊の費用を支給することができる。
- (9) 旅費の支給を受けることができる者がその出発前にやむを得ない事由により協会活動を取り止めた場合は、旅費を支給しない。但し、当該活動のために既に支出した金額がある場合には、当該金額を旅費として支給することができる。

- 第5条 やむを得ない事由により経路、方法および支給方法が第4条に合致しない場合は、その用務の責任者が対応を決定する。
- 第6条 非会員に対して旅費支給の必要が生じた場合は、その用務の責任者が決定する。旅費の算出は第4条に準じる。
- 第7条 旅費精算の方法、書式、その他必要な事項は、その用務の責任者が定める。
(改廃)
- 第8条 この細則の改廃は、理事会の議決による。

附 則

- 1 この細則は令和2年2月15日より施行する。

別紙 1

交通費精算書
(*****用務*****)

一般社団法人日本実験動物技術者協会
*****提出先責任者***** 部

申請日
所属先
所属先住所
自宅住所
氏 名

年 月 日

以下の通り請求します。
(交通費)

日付	利用交通機関	区間	金額
		～	
		～	
		～	
		～	
		～	
		～	
		～	
		～	
		～	
		～	
		合計	¥

（宿泊費）

日付	宿泊先	泊数	金額
		合計	¥
		総計	¥

備考

領 収 証

上記費用を正に領収しました。

日 付

年 月 日

所 属

署 名